

3 すべての人に健康と福祉を

JA共済ヘルスアップ講座

8月19日、アートホテル弘前シティで「JA共済ヘルスアップ講座」が行われ、組合員が健康づくりについて学びました。

講座では、弘前大学名誉教授の中路重之先生が医学の視点に基づいた健康に関する講演を行い、社会福祉法人農協共済中伊豆リハビリテーションセンター福祉部作業療法士の那須さんからはフレイル・関節痛の基礎知識と予防に関する講演が行われました。

他にもJA共済オリジナルの「レインボー体操」の実演、落語家の桂宮治さんによるお笑いイベントが行われました。講座を通じて参加者は健康について理解を深めるとともに、笑顔あふれるひと時を過ごしました。



ヘルスアップ講座を受講する参加者

12 つくる責任 つかう責任

水稲採種圃場検査

8月20日、水稲採種圃場生産者を対象に農業普及振興室職員による圃場検査が行われました。この検査は、令和9年度に使用される水稲種子の採種圃場の生育状況を確認し、優良な種子を確保することを目的に年2回実施されています。

検査では、圃場内の稲の生育状況をはじめ、異品種・変種が混入していないか、病害虫が発生していないかなどを確認しました。



検査を受ける生産者

16 平和と公正をすべての人に

よりよい営農活動講習会

津軽みらい農協青年部は9月1日、黒石地区部員の村岡嘉樹さんのりんご園地と黒石支店会議室で「よりよい営農活動講習会」を開催し、15人が参加しました。講習会では、GH農場評価規準チェックシートを使って農場評価を実施。青年部員を代表して村岡さんが評価を受け、検査員が約38項目を確認しました。「作業員が休暇を取りやすい環境をつくっているか」など農場で働く環境や営農活動の取り組み状況を1項目ずつ点数化されました。

今回の活動を通じて、青年部員は自身の農場環境を見つめ直し、経営改善に繋げていきます。



農場評価で検査員から質問を受ける村岡さん

4 質の高い教育をみんなに

青天の霹靂 適期刈取講習会

9月3日、平川市蒲田と藤崎町水木の2地点で「青天の霹靂適期刈取講習会」が行われました。

講習会では、青森県中南農林水産事務所農業普及振興室の職員が講師を務め、青天の霹靂の生育状況や適期刈取のポイントをはじめ、胴割米の発生要因や乾燥時のポイント、農作業事故防止について説明しました。また青天の霹靂の生産を支援するシステム「青天ナビ」も積極的に利用するよう生産者に呼びかけました。



講師から説明を受ける生産者